



島原守護神
しまばらん

島原市・幸田町 姉妹都市提携 3周年



平成 29 年 10 月 11 日に長崎県島原市と町は姉妹都市提携をし、今年で 3 周年を迎えます。

島原市との姉妹都市提携に至った経緯や、これまでの歩みをご紹介します。

* 姉妹都市とは、文化交流や親善などを目的として結びつきをもつ都市と都市のことです。



H29.10.11 島原市・幸田町姉妹都市提携調印式 (島原市・幸田町同時開催)



島原市・幸田町姉妹都市提携書

歴史的な縁を背景に 姉妹都市提携を結ぶ

島原市と幸田町は平成 29 年 10 月 11 日に姉妹都市提携をしましたが、島原市とのつながりは、380 年前までさかのぼります。

1637 年に起こった島原の乱の際、深溝藩主板倉重昌公が、総大将として島原に派遣されました。その 2 年後の 1639 年、幸田町大字高力にゆかりのある高力忠房公が、島原の乱で疲弊した領土の復興を幕府から託され、島原藩主として赴任し、島原半島の復興に携わりました。それから 30 年経った 1669 年、深溝松平家 6 代当主松平忠房公が、混乱した藩政を立て直すために島原藩主として赴任します。その後、忠和公まで 13 人の深溝松平家当主が島原藩主として島原を治めています。

この両市町の歴史的なつながりを語る上で欠かせないのが、島原市と町に建立されている「瑞雲山本光寺」です。島原本光寺は常に深溝松平家当主の近くに置いて日々行われる先祖の菩提の弔いを行ってきました。一方、深溝本光寺には、初代忠定公以降、歴代深溝松平家当主の墓所が築かれています。赴任先で藩主が亡くなると、深溝の地に御遺骸が運ばれ、

埋葬されました。

歴代島原藩主は、参勤交代の途中、先祖の墓参りのために深溝本光寺に立ち寄っていました。このように、島原市と町は、江戸時代から交流がありました。



H29.11.4 島原七万石踊りを瑞雲山本光寺にて奉納 (幸田町)

このような歴史的な縁を背景に、平成 26 年 10 月、「松平家ゆかりのサミット in 島原」が開かれた際に、両市町で「歴史と文化の友好交流推進に関する協定」を締結しました。この締結以降、さまざまな団体においても交流が深まり、平成 29 年 10 月 11 日に、友好関係をさらに推進するため、姉妹都市提携をしました。

幅広い分野において交流を推進

姉妹都市提携後は、島原市や町のさまざまなイベントで交流を図っています。

平成 29 年度は、歴史と文化の交流シンポジウムの開催やこうした産業まつりにおける島原特産品展示即売会の実施、平成 30 年度は、こうした風揚げまつりでの島原市長賞の設置や、こうした彦左まつり・島原城新能において両市町の特産物の販売を行いました。

姉妹都市提携からの交流

| | | |
|--------|------------|--|
| 平成 29年 | 10月11日 | 姉妹都市提携調印式（島原市・幸田町） |
| | 11月4日 | 島原七万石踊り奉納（幸田町） |
| | 11月11日 | 歴史と文化の交流シンポジウム（幸田町） |
| | 11月12日 | こうた産業まつり（幸田町） 「姉妹都市提携記念・島原特産品展示即売会」 |
| 平成 30年 | 11月27日 | 島原城七万石武将隊による幸田町訪問（幸田町） |
| | 1月14日 | こうた風揚げまつり（幸田町） 大風の部で「島原市長賞」を設ける。 |
| | 1月25日 | 島原藩主深溝松平家第21代当主来町（幸田町） |
| | 3月5日・6日 | 島原商工会議所会員による幸田町視察（幸田町） |
| | 7月29日 | こうた彦左まつり（幸田町） 「島原市特産品を販売」 |
| | 10月13日・14日 | 島原城薪能・しまばら温泉 ^{しらぬい} 不知火まつり（島原市） 「会場にて筆柿等の特産品の販売」 |
| | 11月11日 | こうた産業まつり（幸田町） 「島原市和蠟燭 ^{わろうそく} 絵付け体験ブース」 |
| 平成 31年 | 2月9日・10日 | 歴史と文化の友好交流シンポジウム（幸田町） |
| | 3月31日 | ヘルマンハーブコンサートへの表敬訪問（島原市） |
| 令和元年 | 10月19日・20日 | 幸田町消防団員等派遣（島原市） |
| | 10月19日 | 島原城薪能（島原市） 「筆柿等の特産品を販売」 |
| | 10月21日～23日 | 民生委員・児童委員の島原友好交流事業（島原市） |
| | 11月10日 | こうた産業まつり（幸田町） 「島原城七万石武将隊によるステージ演武」 「ブースでの物産販売」 |
| 令和2年 | 1月12日 | こうた風揚げまつり（幸田町） 大風の部で「島原市長賞」を設ける。 |
| | 1月21日 | 幸田町発 aibo 派犬事業島原市受入式（島原市） |
| | 7月31日 | 災害時における相互応援協定書の締結（島原市） |

今後の予定 *変更または中止となる場合があります。

| | | |
|------|------------|---------------------------|
| 令和3年 | 10月11日 | 島原市・幸田町姉妹都市提携3周年記念事業（幸田町） |
| | 10月15日～17日 | 幸田町手話言語条例策定に伴う先進地視察（島原市） |
| | 10月16日・17日 | 文化交流事業「大嵐寄贈」（島原市） |
| 令和3年 | 2月10日～14日 | 小崎侃氏版画展（幸田町） |



R1.10.19～20 幸田町消防団員等派遣（島原市）



R1.10.21～23 民生委員・児童委員の島原友好交流事業（島原市）



R1.11.10 産業まつりにて島原城七万石武将隊がステージ演武（幸田町）



R2.7.31 災害時における相互応援協定書の締結（島原市）

問合せ 企画政策課政策グループ
 (0564) 62・1111 (内線331)
 FAX (0564) 63・5139



R2.1.21 幸田町発 aibo 派犬事業島原市受入式（島原市）

昨年度は、町の消防団や、民生委員・児童委員による島原市への訪問、さらに、こうた産業まつりでは、島原城七万石武将隊によるステージ演武や、島原市の特産品を販売しました。

また、友好交流のシンボルとして、町内の企業が製造している aibo を島原市に2匹派犬（派遣）し、現在、島原城で活躍しています。

今年も、7月に行った「災害時における相互応援協定書」の締結をはじめ、10月11日に記念事業を開催、令和3年2月には島原市で活躍されている画家・版画家の小崎侃氏の版画展も予定しています。

今後も、文化、防災、教育、福祉など幅広い分野における交流をさらに推進していきます。